

# 提 言 書

平成 2 7 年 1 2 月 1 8 日

枕崎市行政改革推進委員会

## 平成27年度の枕崎市行政改革推進委員会

1 日 時 平成27年11月20日（金）午後2時～3時50分

2 場 所 市役所本館2階会議室

3 出 席 者

（枕崎市行政改革推進委員会委員）

会長 牧野政義，会長代理 岩尾和哉，片山弘子，神田マユミ，木浦博美，  
古閑 毅，品川賢治，茶屋征夫

合計8名出席（欠席委員2名：上野 稔，日渡照市）

（市長，副市長，委員会の庶務〔総務課〕）

市長 神園 征，副市長 久木田 敏

総務課長 本田親行，行政改革推進係長 鮫島寿文，総務課参事補 西村祐一

4 調査審議事項

(1) 第3次枕崎市行財政集中改革プランについて

(2) その他（行革全般）について

枕崎市行政改革推進委員会において，上記の事項について審議し，行政改革に対する意見として取りまとめました。

社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政を推進することと，更に魅力あるまちづくりが推進されることを期待し，後述する内容を枕崎市行政改革推進委員会の提言とします。

平成27年12月18日

枕崎市行政改革推進委員会

会 長 牧 野 政 義

## 枕崎市行政改革推進委員会（平成27年11月20日開催）の提言

### 提言① 主要財政指標（経常収支比率等）の改善について

財政構造の弾力性を判断する経常収支比率については、厳しい数値が続いている。今後も引き続き改善に努められたい。

このほか地方債残高や基金を含めた主要財政指標については、第3次枕崎市行財政集中改革プランに掲げた改善目標が達成されるよう、中長期的な視点に立ち、適正な数値管理に努められたい。

### 提言② ふるさと応援寄附の推進について

ふるさと応援寄附の推進を図ることを目的として、平成28年から寄附者への返礼事業を実施するということであるが、返礼品となる特産品の選考等、効果的な事業実施の在り方を検討し、成果が上がる取組としていただきたい。

### 提言③ 住民サービスの向上と産業育成等への投資について

これまでと同様に行政の効率化やコストカットを強力に推進するとなると、公共サービスの低下、住民のくらしや地域経済の浮揚・振興に影響を与えかねず、何のための行革かということになりかねない。経費削減重視、行き過ぎた行財政改革の取組が、住民サービスの低下や地域経済の後退要因となってはいけない。

効率化を進めていくにあたり、行政サービスの質が低下しないよう十分留意されたい。また、必要なものには予算を投入し、住民サービスの向上にも留意されるとともに、地域産業の育成や将来のために先行投資することも必要である。

このような必要な投資については、国県等の助成・補助事業等の取り込み、特に過疎債の活用も図られたい。

### 提言④ 人事評価制度について

平成28年度から完全実施される人事評価制度については、職員一人ひとりの意識改革や士気の高揚など、総合的な人材育成を通して職員の資質向上に努めるとともに、能力や成果を人事・給与に反映していく仕組みなども検討していただきたい。

職員の資質に関連し、身だしなみや丁寧な言葉使い、市民にわかる言葉で伝える姿勢など、一層の接遇向上に努めていただきたい。

市民協働やボランティアについては、市職員が率先して行動し、市民のために社会のために働くという心を育み、市民の模範となるよう期待したい。これらの職員の活動も、人事評価を行う上で参考としていただきたい。